

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	高度加工実習 2	
科目基礎情報					
開設学科	機械設計科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位			授業形態	実習
教科書/教材	必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	宮川城一		実務経験の有無・職種	有・機械設計/機械加工	
学習目的					
卒業製作で設計を行った部品が実際に加工できるか確認し、NC工作機械・汎用工作機械によって部品を加工する。 加工した部品の測定・検査を行う。					
到達目標					
学生自身が設計を行った部品を実際に作ることができるか確認し、NC工作機械・汎用工作機械で実際に加工を行う。 実際に加工した部品の測定・検査を行えるようになる。					
教育方法等					
授業概要	卒業製作で設計した製品の2次元・3次元図面から加工方法、加工手順を考え、実際に材料素材から機械加工を行い、部品の製作を行う。				
注 意 点	工作機械を使用するにあたっては、使用法・各種設定・加工条件等の検討を行わないと工作機械の破損及び最悪の場合人的被害につながるので十分注意して使用すること。授業時限数の4分の3以上の出席した学生のみが評価の対象者となる。				
評 価 方 法	種 別	割 合	備 考		
	平常点	50%	与えられた作業を遂行したかを総合的に評価する		
	課題	10%	作業内容に対する成果物の結果・自己評価・分析・事後活用等を総合的に評価する		
	実技	40%	作業内容に対しての理解度・安全確認について評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	部品の寸法確認 1		卒業製作で設計した製品の図面が加工できる寸法か確認する		
2 回	部品の寸法確認 2		卒業製作で設計した製品の図面が加工できる寸法か確認する		
3 回	部品の寸法確認 3		卒業製作で設計した製品の図面が加工できる寸法か確認する		
4 回	部品の加工手順の確認 1		図面をもとに加工方法、加工手順を考える		
5 回	部品の加工手順の確認 2		図面をもとに加工方法、加工手順を考える		
6 回	部品の加工手順の確認 3		図面をもとに加工方法、加工手順を考える		
7 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
8 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
9 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 0 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 1 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 2 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 3 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 4 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 5 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
授業計画（1 6 回～2 3 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 6 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 7 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 8 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
1 9 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
2 0 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
2 1 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
2 2 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		
2 3 回	部品の加工		加工図面をもとにした機械加工、製作		